

公明党さいたま市議団の 「平成28年度予算編成並びに施策に対する要望書」 に対する回答を清水勇人市長から受け取る



本年1月22日(金)、公明党さいたま市議会議員団は「平成28年度予算編成並びに施策に対する要望書」に対する回答を清水勇人・さいたま市長にから受け取り、説明を受けました。

この要望書は、「災害に強い都市づくり」、「市民の健 康づくりサポート」、「シニアが活躍する都市」、「女性が活躍する子育て教育都市」、「都市を支える産業の振興」な

ど9テーマ57項目にわたる市政一般の施策要望と、10区の区別要望33項目を加えた合計90項目の要望としてまとめたものであり、これらに対し、さいたま市の現状の取り組みと今後の施策展開についての回答がありました。

そのうち、実現の道筋が明らかにされなかった要望については、今後も粘り強く提案・要望をおこない実現を目指してまいります。

2月定例会の代表質問に上三信 彰議員、井上 伸一議員が登壇

上三信 彰議員の主な質問と答弁

東日本の玄関口としてのまちづくりを!

質問要旨 首都圏広域地方計画における位置付けを受け、今後の本市のまちづくりにおいて、ハード面・ソフト面それぞれどのような方向性で取り組んでいくのか伺う。

答弁要旨 大宮駅周辺地域においては、交通結節機能のさらなる強化として「大宮駅セントラルステーション化構想」の実現に向けて積極的に取り組んでいく。ソフト面においても、昨年初めて開催した「東日本連携・創生フォーラム」や、市の産業交流を推進するために開催した「BIZ SAITAMA(ビズ・サイタマ)」を継続して開催していく。また、大宮駅周辺に「(仮称)東日本連携支援センター」を設置し、各地の特産品や地域資源、観光などの情報発信の拠点としていきたい。



井上 伸一議員の主な質問と答弁

待機児童ゼロに向けた積極的な取り組みを!

質問要旨 平成29年度の待機児童ゼロに向けて、さまざまな取り組みや解消策が必要となる。保育士不足を解消するための人材確保や障がい児保育の拡充に向けた取り組みについて伺う。

答弁要旨 保育人材確保に向けては、保育士の宿舎借り上げ支援事業などと継続実施するとともに、新たな取り組みとして、通信講座による資格取得の補助や、東北、北陸などの保育士養成施設に対し本市の保育施策や施設の魅力をPRし、積極的な保育士採用プロモーション活動を展開するなど、引き続き効果的な保育人材確保に取り組んでいく。障がい児保育の拡充についても、民間保育所などの受け入れが進むよう、28年度から専任保育士を配置するための人員費補助を大幅に増額していく。

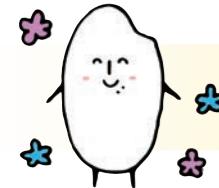


その他の 主な 質問項目

- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 公衆無線LANの設置拡大について
- セカンドライフ支援事業について
- 学校の老朽化対策について

その他の 主な 質問項目

- 妊娠・出産包括支援センターの機能について
- ノーマライゼーション条例について
- がん対策の推進について
- 防災都市基盤整備について



公明党さいたま市議団の提案・要望が反映された 平成28年度予算におけるさいたま市の主な事業

シニアの健康づくりの推進

●シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業

高齢者団体が主催する健康サークルなどに参加した高齢者にポイントを付与し、ポイントに応じて奨励金を交付することで、高齢者の健康づくりを支援します。



●アクティブチケット交付事業

公共施設等を無料または割引料金で利用できるアクティブチケットを一定の条件の下で交付し、高齢者の活動的生活を支援します。

市民の健康づくりをサポート

●健康マイレージ事業

ICTを活用し、身边に取り組める健康プログラムを提供するものとして、歩数をポイントに変換しポイントに応じて特典を受けられる健康マイレージ制度を実施します。

●データヘルス事業

レセプトや健診データを分析し、被保険者の健康保持増進や医療費適正化に向けた取り組みをおこないます。

※レセプト…診療報酬明細書のこと。診療や処方薬の内容が記載されており、これによって医療の内容を把握することができます。

妊娠・出産期支援の拡充

●妊娠・出産包括支援センター整備事業

妊娠期から出産前後に焦点を当てた「妊娠・出産包括支援センター」を平成30年度までに各区の保健センターに整備します(平成28年度は見沼区、中央区、緑区に整備予定)。



ひきこもりや自殺への対策推進

●自殺対策推進事業

ゲートキーパー養成や講演会などを実施し、自殺予防の推進を図ります。

●ひきこもり対策推進事業

不登校・ひきこもりの本人や家族への相談を実施したり、グループ活動による支援をおこないます。

学校の人員体制の強化

●スクールアシスタント配置事業

すべての市立小・中学校等にスクールアシスタントを配置し、子どもたちの教育ニーズに応じた授業の補助や生活支援などをおこないます。



保育所や放課後児童クラブの待機児童の解消へ

●特定教育・保育施設等整備事業

保育所等の待機児童解消を図るため、賃貸物件による保育所整備の補助を新たに拡充するなど、保育所等の施設を整備し、定員を1302名増員します。



●放課後児童健全育成施設整備事業

放課後児童クラブの待機児童解消を図るため、民設放課後児童クラブの新規開設など、放課後児童クラブを整備し、定員を420名増員します。

●保育士採用プロモーション活動事業

保育士不足の解消を図るために、東北、北陸地方等の保育士養成施設と連携し、学生に対する就職支援をおこないます。



総合的な浸水対策の推進

●流域貯留浸透事業

降雨が短時間で河川に集中して浸水被害を起こすことを軽減するため、学校や公園等の公共施設に雨水を一時的に貯留・浸透させる施設を設置します。

●水位情報システム構築事業

豪雨時における適切な水防活動に資するため、監視カメラ等によって水位情報を正確かつ迅速に収集するシステムを構築します。



●雨水貯留タンク設置補助事業

住宅における雨水貯留タンク設置補助を実施し、雨水の有効利用を推進します。

首都高速埼玉大宮線の延伸計画がいよいよ事業化へ!

与野ジャンクションから上尾南インターまで[約8キロ]



これまで公明党さいたま市議団が要望をおこなってきた「首都高速埼玉大宮線の延伸」が、いよいよ実現に向けて動き始めました。

国は今年2月22日、埼玉県中央地域の渋滞対策として新大宮上尾道路(与野JCT~桶川JCT間、延長約15km)のうち、特に渋滞が著しい与野JCT~上尾南IC区間(約8km)を優先的に新規事業化候補箇所とすることを決め、事業化へ着手することになりました。

「さいたま市=東日本の玄関口」として
国のプロジェクトが動き始めます!

「大宮」が東北・上信越・北陸の 「対流拠点」に!

「東日本の玄関口=大宮」の機能強化へ

災害時に首都圏を バックアップする防災拠点に! さいたま新都心に防災公園を整備

今年3月26日に開業した北海道新幹線をはじめ、東北、上信越、北陸新幹線が集結する「大宮」は、東日本からのヒト、モノが集結して交流する「対流拠点」となります。また、東京都内では新幹線は徐行運転となるため、東京駅始発の増便は限界に来ており、大宮駅始発新幹線も含めた大宮駅の機能強化を図る必要性があり、「大宮」を「対流拠点」とするプロジェクトが動き始めました。